

決算説明資料

2020年3月期 第3四半期

代表取締役社長 長谷川 聡

2020年2月14日

© 2020 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous AI Corporation makes no warranties, express or implied, in this summary.



Index

- 第3四半期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第3四半期 業績の概要

第3四半期（累計期間）の概況

業 績

- 連結売上高 : 1,573百万円
(前年同期比 6.5%減)
- 連結営業利益 : △90百万円
(前年同期比 124百万円減)

セグメント別概況

ソフトウェアプロダクト事業

ロイヤルティ売上の増加により、営業利益が前年を上回る

ソフトウェアディストリビューション事業

前年度が契約時一時金や前払ロイヤルティが多かったため、売上・営業利益とも前年を下回るが、計画どおり推移

ソフトウェアサービス事業

売上・営業利益とも前年を下回るが、計画どおり推移

連結損益計算書

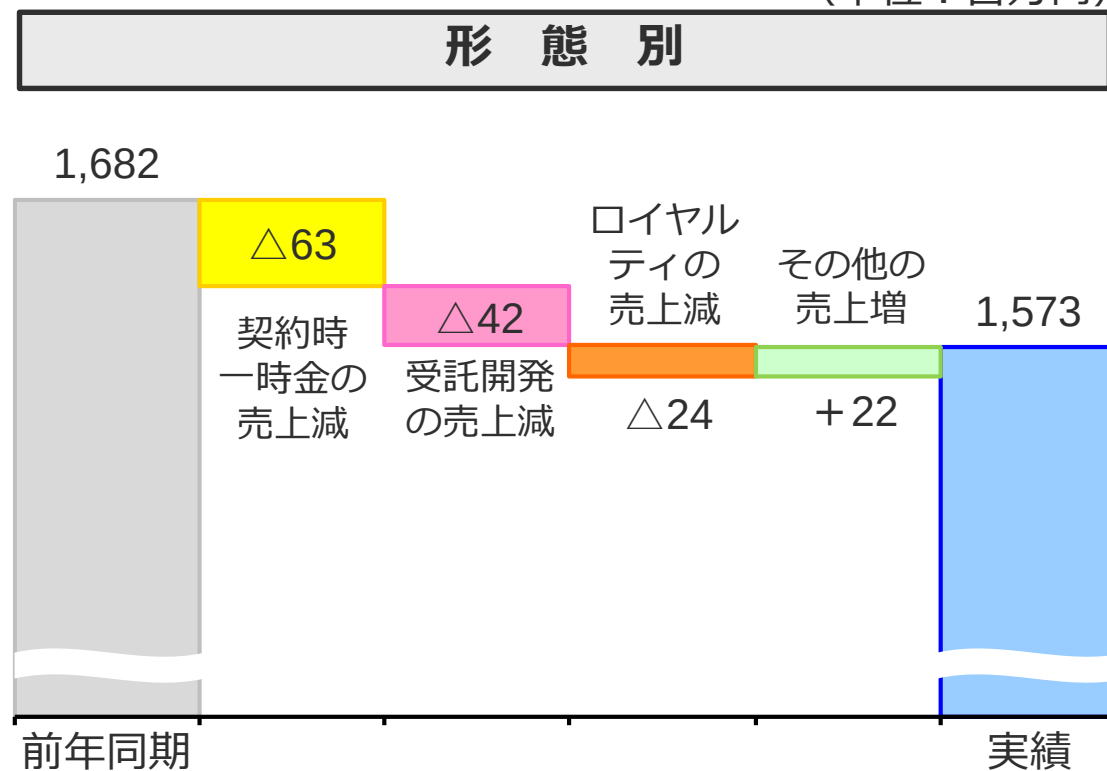
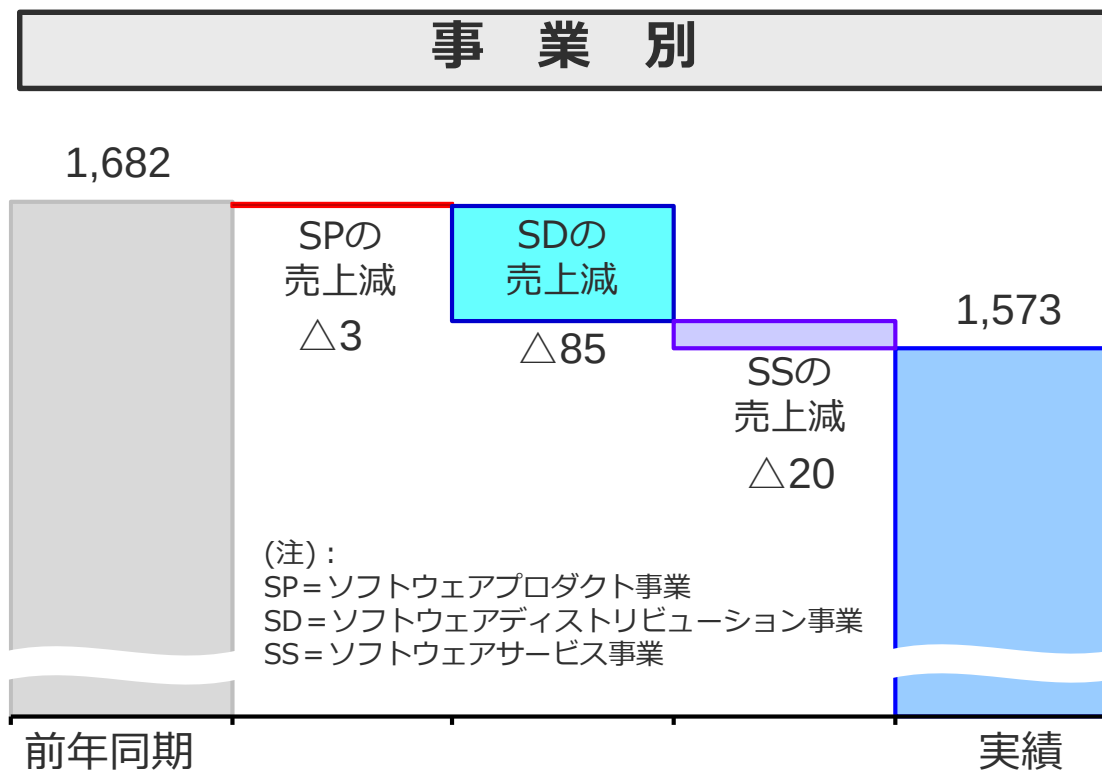
(単位：百万円)

	前年同期	2020/3期 (第3四半期)	増減	前々年同期 (参考)	増減
売上高	1,682	1,573	△108	1,559	14
売上原価	828	871	42	811	59
売上総利益	853	702	△151	747	△45
販管費	819	793	△26	860	△67
営業利益	33	△90	△124	△112	21
営業外損益	24	4	△20	40	△36
経常利益	58	△86	△145	△71	△14
特別損益	△0	-	0	△0	0
法人税等	40	11	△29	42	△31
四半期純利益	17	△98	△115	△115	16

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比増減：売上高

(単位：百万円)

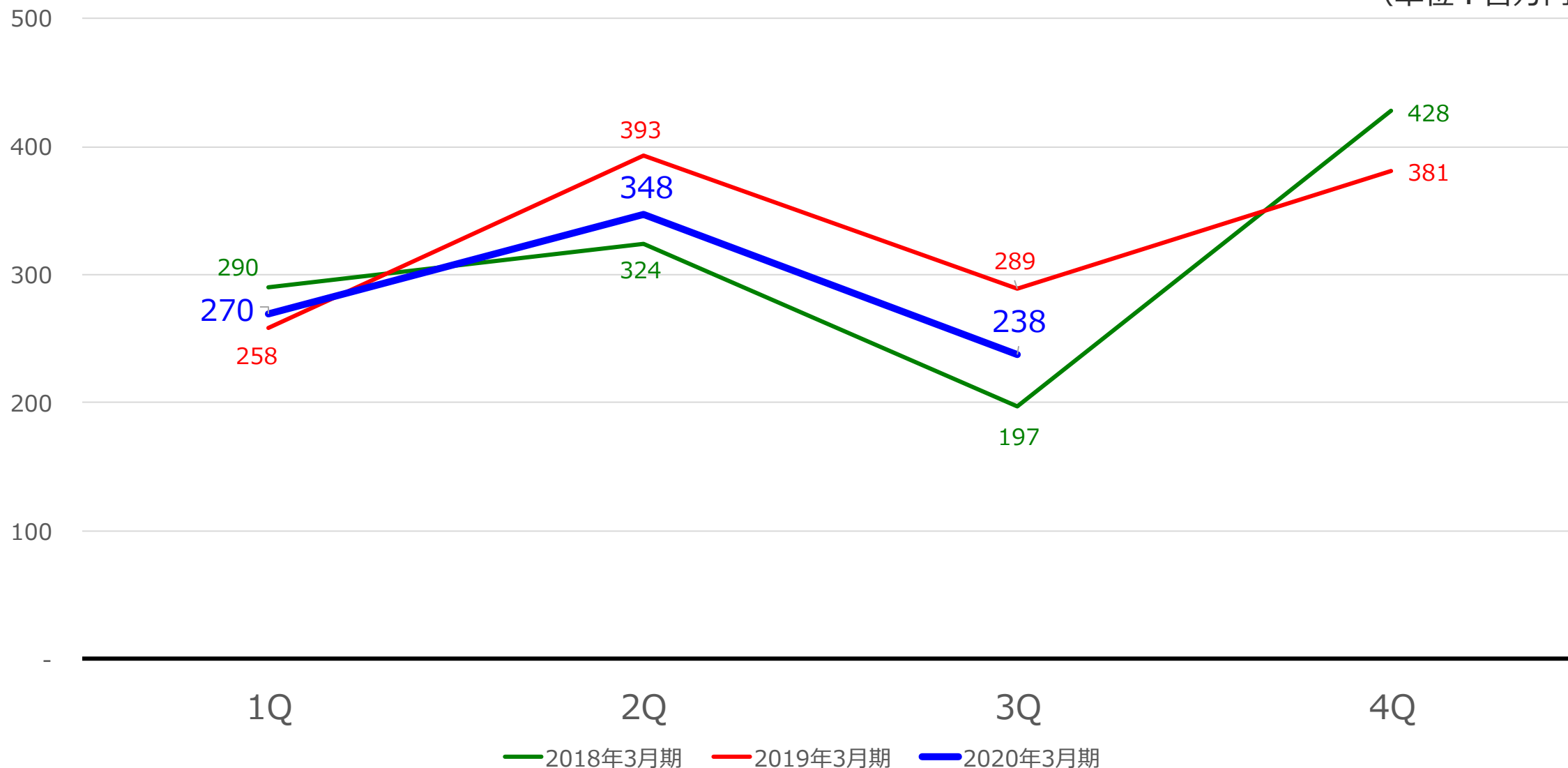


■ 前年同期比 売上高：SD事業の契約時一時金及び前払ロイヤルティ売上が減少

- SP事業： 契約時一時金売上、受託開発売上が減少、ロイヤルティ売上が増加
- SD事業： 契約時一時金売上、ロイヤルティ売上が減少
- SS事業： 契約時一時金売上、ロイヤルティ売上、サポート売上が減少、受託開発売上が増加

【参考】SD事業における四半期毎の売上比較

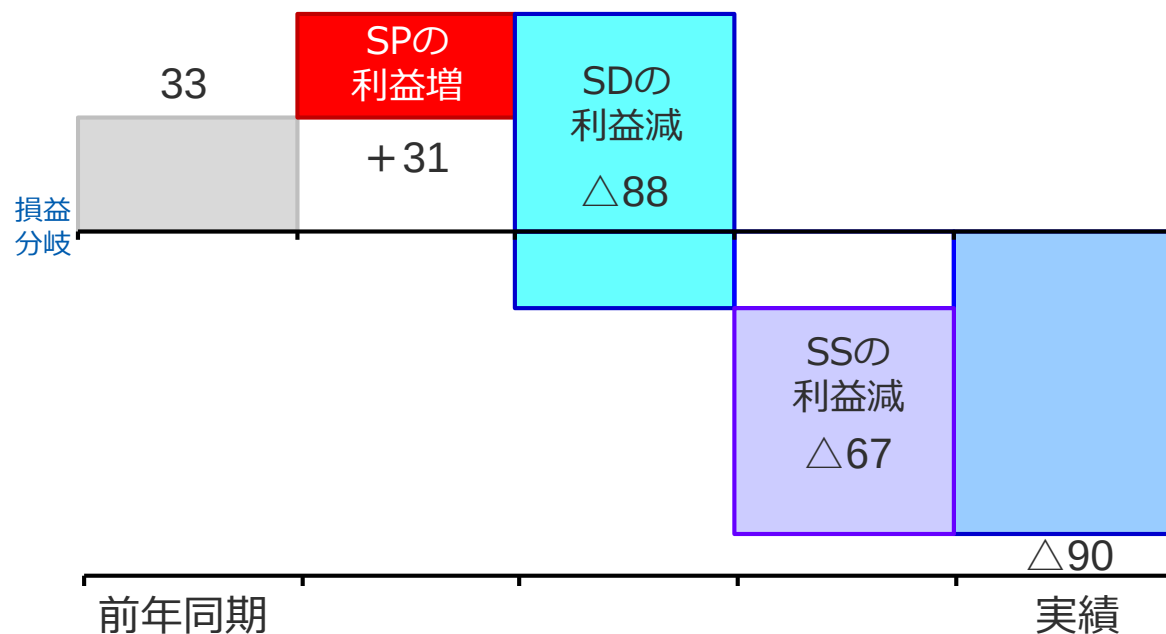
(単位：百万円)



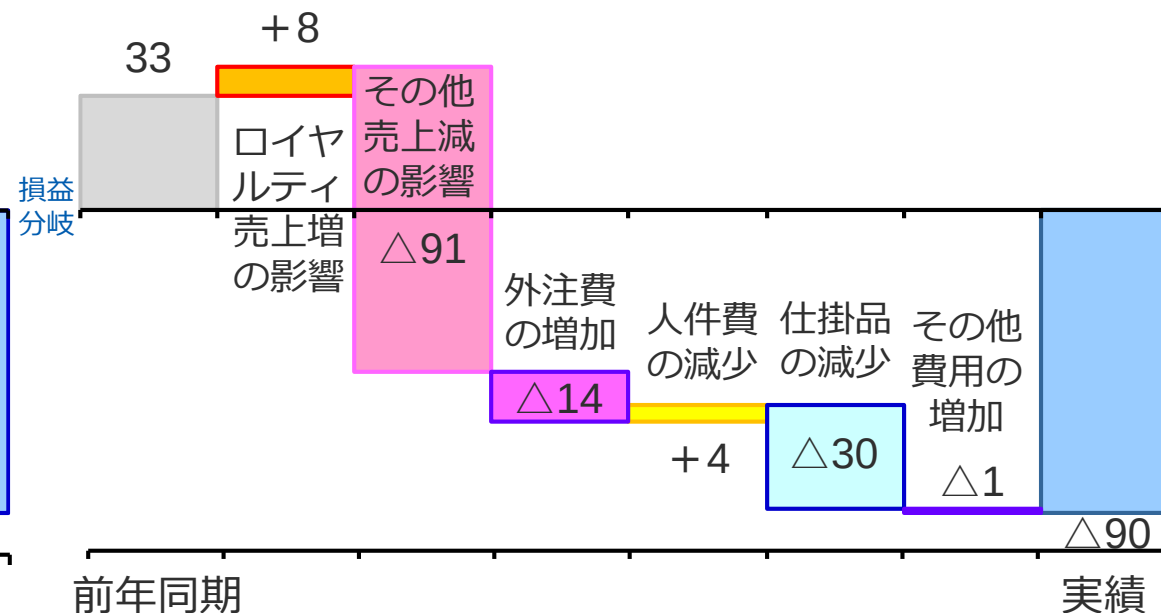
前期比増減：営業利益

(単位：百万円)

事業別



費目要因別



■ 前年同期比 営業利益：微減

- ロイヤルティ売上は微増したものの、その他の売上減が影響
- SP事業：ロイヤルティ売上増と受託開発売上減少により採算性が改善、営業利益が増加
- SD事業：ロイヤルティ他の売上減、及び人件費等の増加により、営業利益が減少
- SS事業：売上減、及び原価率の低い受託開発売上の前期からの期ズレにより、営業利益が減少

連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

	2019/3月末	2019/12月末	増減
現金・預金	1,159	829	△329
受取手形・売掛金	5	3	△1
有価証券	400	900	500
棚卸資産	22	22	-
前払費用	69	48	△20
その他流動資産	727	457	△269
流動資産	2,384	2,262	△122
のれん	526	369	△157
その他固定資産	304	319	14
固定資産	831	688	△142
資産合計	3,215	2,950	△264

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

	2019/3月末	2019/12月末	増減
買掛金	153	73	△80
未払金	59	27	△32
前受金	110	74	△35
その他流動負債	75	39	△36
流動負債	399	214	△184
固定負債	80	81	1
資本金	1,482	1,483	0
資本剰余金	1,452	1,453	0
利益剰余金	△236	△335	△98
その他純資産	37	52	15
純資産	2,735	2,654	△81
負債・純資産合計	3,215	2,950	△264

通期業績予想（連結）に対する進捗

（単位：百万円）

	通期 業績予想	第3四半期 実績	進捗率（%）
売上高	2,419	1,573	65.1
営業利益	10	△90	—
経常利益	10	△86	—
純利益	8	△98	—

セグメント及び製品分野別 動向と取り組み

対前期比増減:セグメント及び製品分野別売上高

(単位:百万円)

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2020/3期 第3四半期 (連結)	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	コネクティビティ&セキュリティ	143	94	△34.2
	データベース	65	42	△34.9
	高速起動	243	311	28.2
	小計	452	449	△0.8
ソフトウェアディストリビューション事業		939	853	△9.1
ソフトウェアサービス事業		290	270	△6.8
合計		1,682	1,573	△6.5

対前期比増減:セグメント別売上及び利益

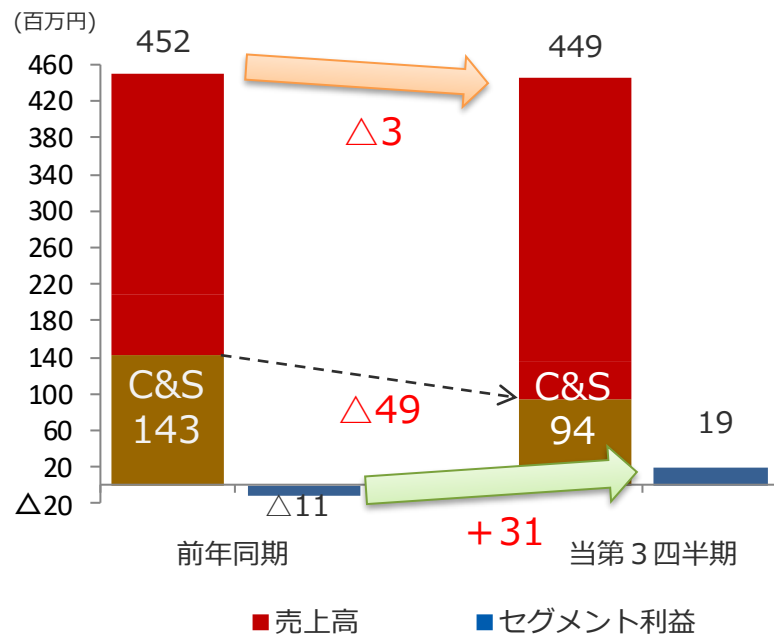
(単位:百万円)

		前年同期 (連結)	2020/3期 第3四半期 (連結)	増減額
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	452	449	△3
	セグメント利益	△11	19	31
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	939	853	△85
	セグメント利益	※1 17	※1 △70	△88
ソフトウェアサービス 事業	売上高	290	270	△19
	セグメント利益	※2 27	※2 △40	△67

※1 旧株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 79百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 77百万円を含めております。

コネクティビティ & セキュリティ関連



■ 当四半期概況

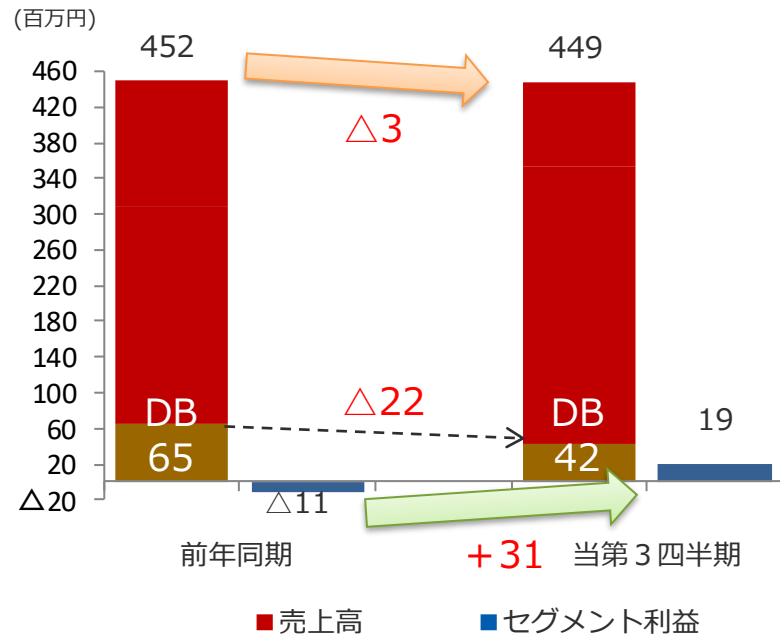
- スマートエネルギー関連の案件で受託開発売上を計上
- 「Edge Trust」(セキュアなIoTサービスを実現するソリューション)に関する受託開発売上を計上
- 2019年11月、「Edge Trust」で使用される独自技術を対象に、凸版印刷社と特許を共同出願
- 2019年11月、ラブロック社との間で、ブロックチェーンを活用したIoT機器のデータ改ざん防止ソリューションに関する業務提携を行うことにつき合意
- 2019年12月、「Edge Trust」の新サービスメニューとして、IoT機器の定期健康診断サービス「Edge Trust Health Check」の提供を開始。同時に、同サービス内で提供を予定しているIoT機器の安全性をスコア化する仕組みの特許申請

■ 取組方向性

- 新製品「Edge Trust」によるIoTセキュリティ分野での事業展開強化：半導体／半導体部品メーカー、販社との連携強化、ソリューション提供によるサービスも含めた拡販展開
- ディストリビューション事業取扱製品の一部（セキュリティ関連）、パートナーとの開発連携によるネットワーク、セキュリティを中心とした製品ラインナップの強化・充実
- 車載、産業、その他IoT市場に向けたセキュリティ関連製品の拡販活動

※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、コネクティビティ & セキュリティ関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 データベース関連

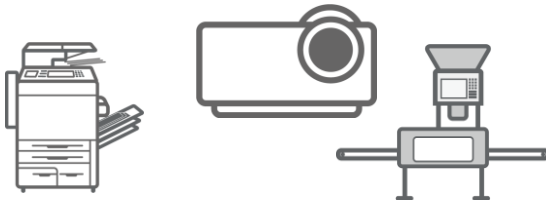


■ 当四半期概況

- 産業機器等の既存顧客のロイヤルティ売上を計上

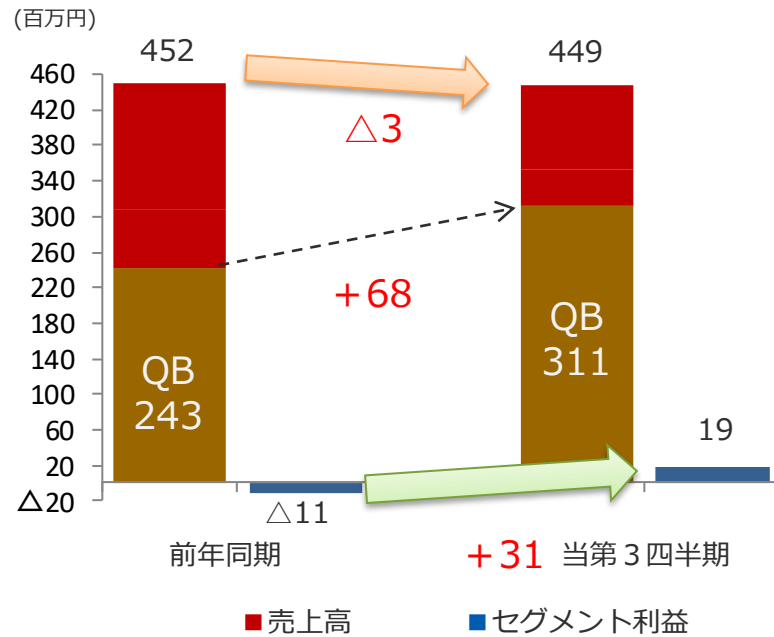
■ 取組方向性

- 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上です。

ソフトウェアプロダクト事業 高速起動関連



※グラフは、ソフトウェアプロダクト事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上です。

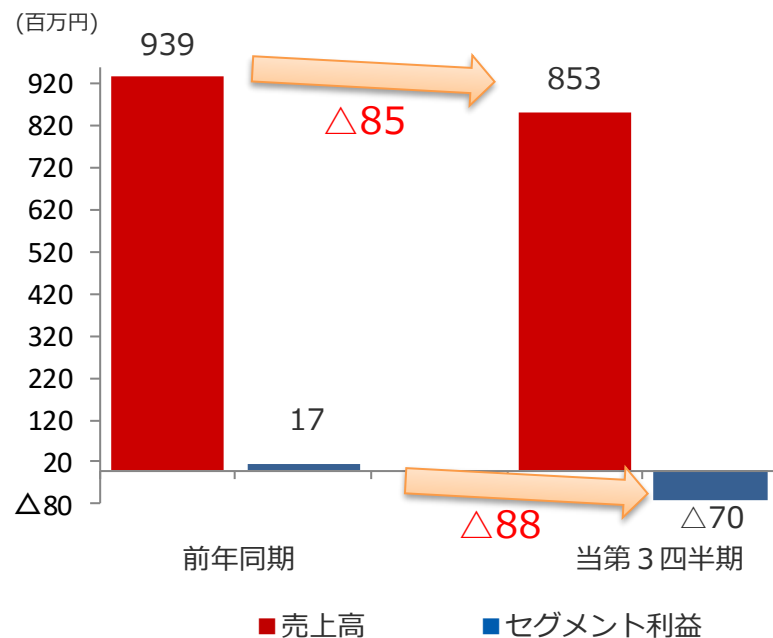
■ 当四半期概況

- 既存の車載機器関連、海外民生機器の顧客からのロイヤルティ売上が堅調に推移
- 引き続き、カーナビ等車載向け機器を中心に、複数社との間で大・中規模案件の開発が継続中
- 商品化に向けた新規案件で、契約時一時金売上を計上

■ 取組方向性

- 車載情報端末以外の車載機器向けの拡販を強化
- Tuxera社との協業も含めた海外顧客の拡販を強化
- 仮想化技術、セキュアブート、電源断対応ファイルシステム などの機能組み合わせなど付加価値の高いソリューション化、クロスセルを推進
- 次世代技術開発の継続

ソフトウェアディストリビューション事業



■ 当四半期概況

- ワイヤレス製品：車載機器等の既存顧客から「Blue SDK *₁」のロイヤルティ売上等を計上
- BIOS製品：ノートブックPCの既存顧客から、「Insyde H2O *₂」のロイヤルティ売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品：車載機器、産業機器等の既存顧客から「CodeSonar *₃」やECU関連開発ツールなど年間ライセンスのリピート及び新規顧客からの年間ライセンス及びサポート売上を計上
- AI関連製品：新たにスウェーデンEkkono社と代理店契約を結び、各種AI商材の販売を開始
- その他、多数の取扱製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

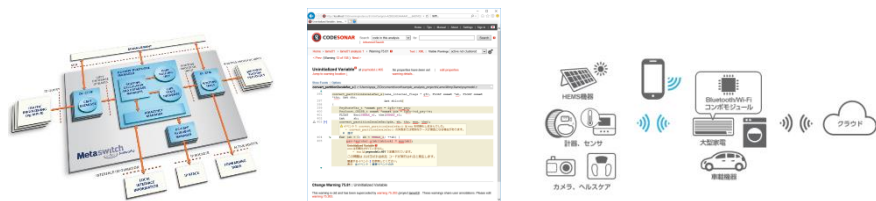
- 米国のBeyond Security社とIoT機器の脆弱性・セキュリティ検証のための新ツール「beSTORM X」を共同開発・販売開始、新たな取り組みとしてIoTセキュリティ検証サービスを推進
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進
- 引き続き訴求力ある新規取扱い製品を拡充し、売上・利益の拡大を図る

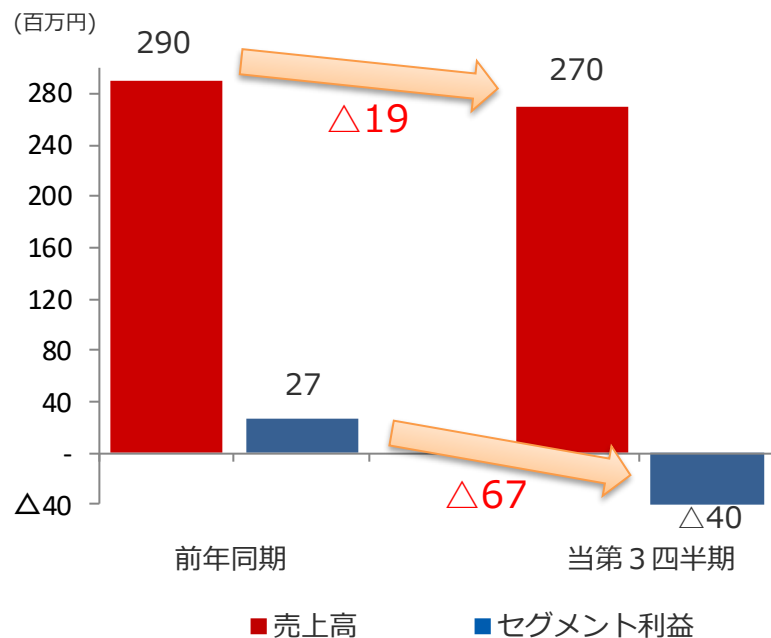
*1 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*2 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*3 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール

*4 CoDriver: ドライバーモニタリングシステム





■ 当四半期概況

- 既存顧客との各種受託開発売上を計上
- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループの製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウヤユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

IoT機器の定期健診サービス「Edge Trust Health Check」を提供開始

凸版印刷との協業に基づいて提供している「Edge Trust」のサービスメニューの一つとして、定期的な脆弱性評価の実施と容易化されたインシデント管理サービスの提供を開始しました

複雑なインシデント管理を容易化し、常に安全な状態の維持をサポートすることで、IoTサービス事業者がサービスの品質向上に集中できる環境づくりをサポートします

■ 「Edge Trust Health Check」の特長

- 各種重要ガイドラインを考慮した検証項目設定
- IoT機器のライフサイクルにおける複雑なインシデント管理をサポート
- 定期的に脆弱性の有無を把握し、機器開発時だけでなく出荷後に発生した脆弱性にも対応
- 脆弱性診断は、ファジングテストやペネトレーションテストを中心に実施
- 脆弱性診断結果のスコア化による安全性判定（将来機能）

併せて、本サービス内で将来提供予定のIoT機器の保険サービスなどに適用可能な安全性をスコア化するシステムを、特許申請しています



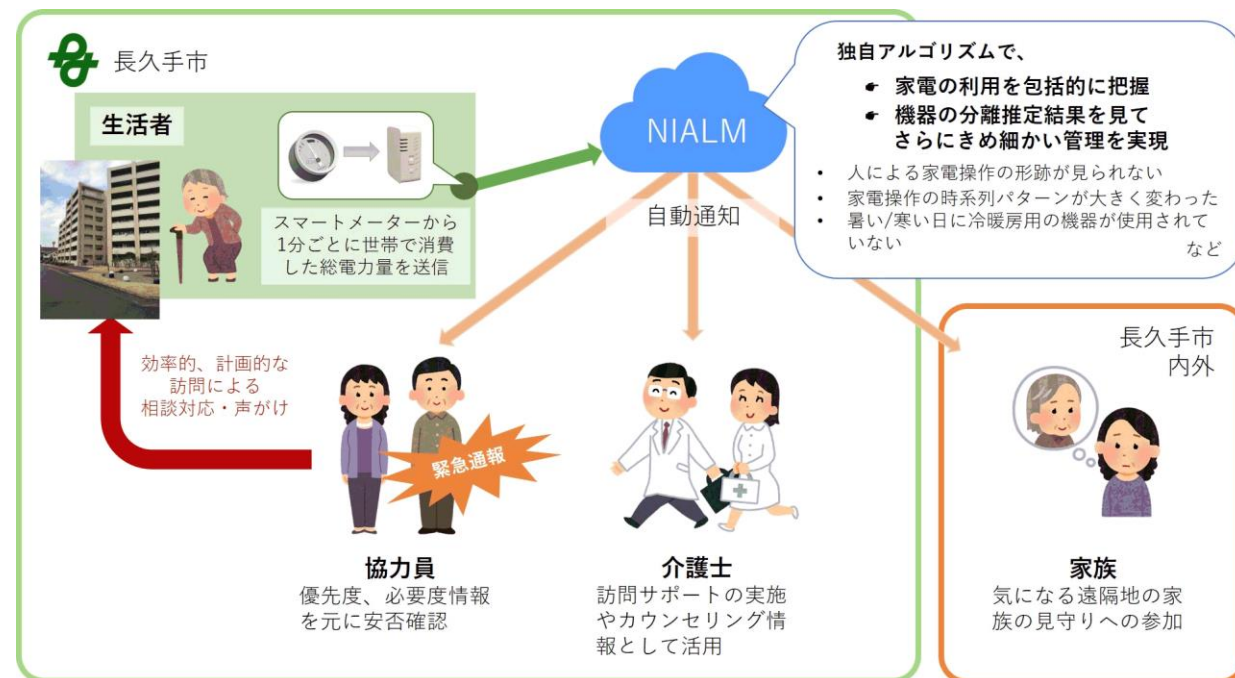
長久手市の高齢者見守りシステムの運用実験に参画

愛知県長久手市 長寿課による、高齢者が住み慣れた地域や自宅で人生の最期まで自分らしい暮らしを続けるための仕組み（地域包括ケアシステム）づくりを目指す取り組みの一環として、2019年12月より、名古屋産業大学 現代ビジネス学部 教授 石橋健一氏と共同でスマートメーター（**Bルート**）**経由で収集した**電力使用量データを活用した高齢者見守りシステムの運用実験を実施しています

当社は、本運用実験で、パートナー企業である加賀電子株式会社製のスマートゲートウェイの開発と機器提供、トーマステクノロジー株式会社が提供するNIALM※を活用したクラウド上の利活用システムの開発及び運用実験のシステム運用を担当しています

■ 運用実験で使用されるシステムの概要

- 実験協力する各世帯の宅内に設置されたスマートゲートウェイで受信したスマートメーターの1分ごとの電力使用量をインターネット上のサーバーへ送信
- 送信されたデータは、電力データ活用技術「NIALM」で解析され、人による家庭用電気器具(以下「家電」)の使用を包括的に判定・識別するとともに、個別家電の利用状況を推定
- 長久手市は、家電の包括的な使用状況を基に、推定された個別家電の利用状況を参考にして居住者の活動状況を判別し、特定の家電やセンサー類を使用することなく見守りに役立てる

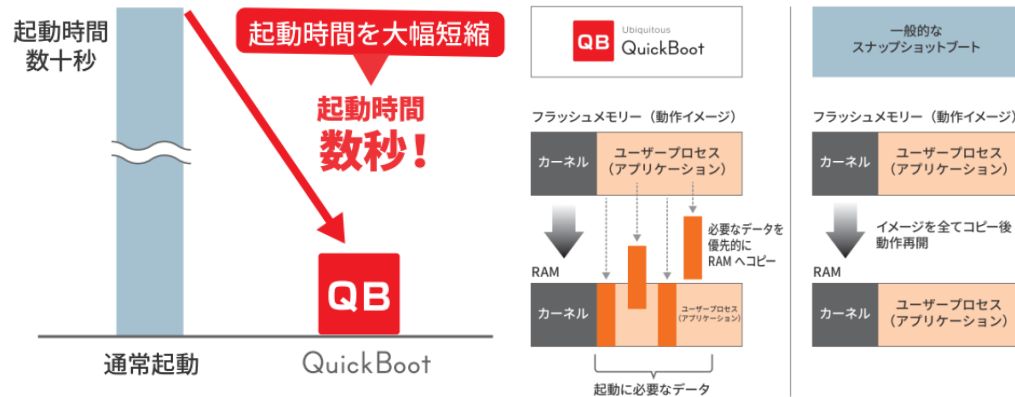


※.NIALM (Non-Intrusive Appliance Load Monitoring) : トーマステクノロジー株式会社製品、非侵入型電力機器モニタリングと呼ばれ、家庭の総電力使用から、個別家電機器の種類と使用状態を推定するアルゴリズム

「Ubiquitous QuickBoot」 累計出荷数 3,000万本を突破！

■ 製品概要

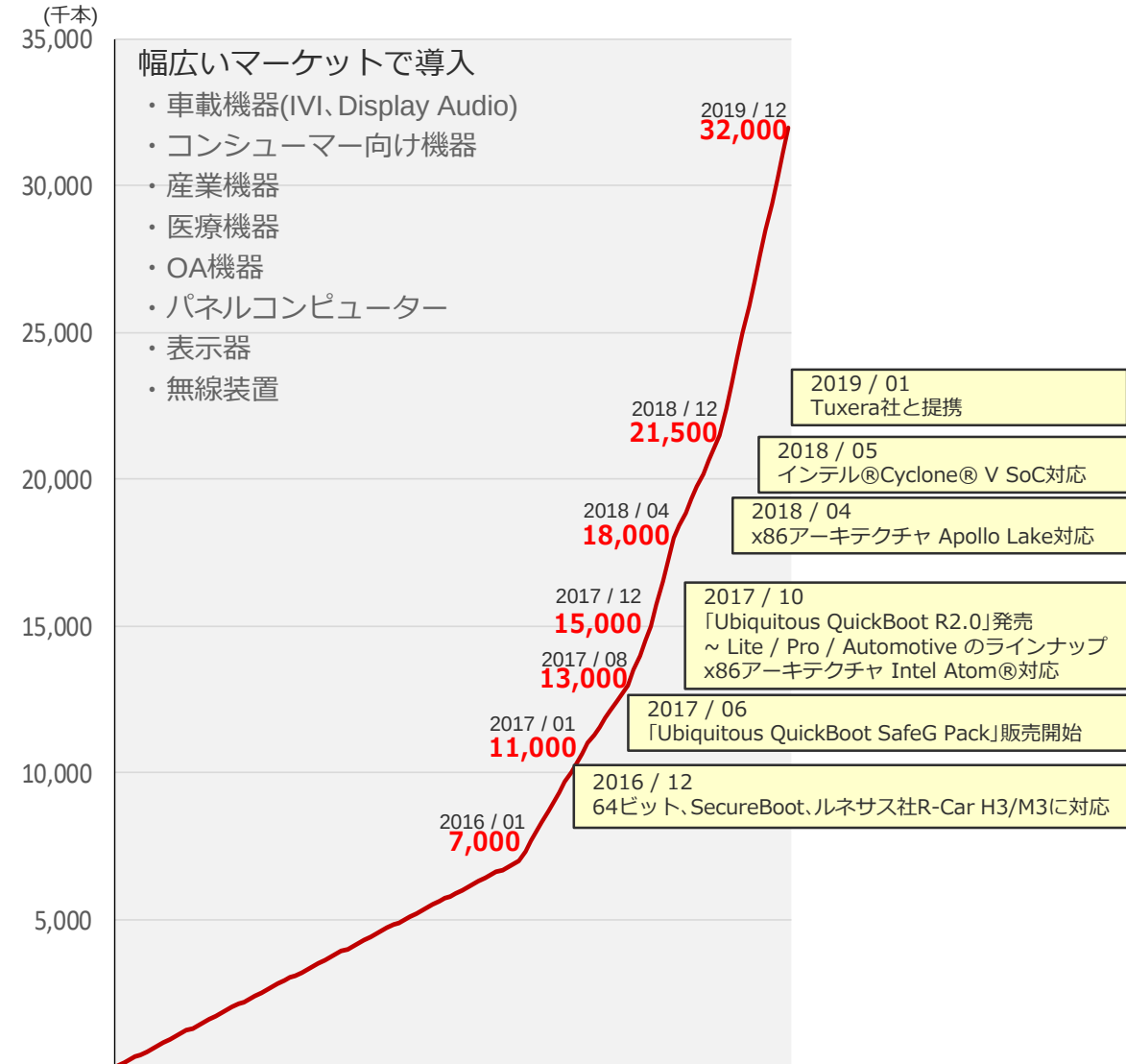
- 「Ubiquitous QuickBoot」は、当社が独自に開発したシステムの高速起動ソリューション（※特許登録済）
- 顧客が開発する機器の起動時間を簡単に短縮し、省電力と共に快適なユーザーエクスペリエンスの実現を支援



■ 導入効果とアプリケーション例

導入効果	アプリケーション例
記録・監視など、各種処理をすばやく開始	監視カメラ デジカメ ドライブレコーダー
ユーザーの起動待ちストレスを軽減	カーナビ テレビ パソコン、各種操作車
すぐ起動できるから、待機電力ゼロでの運用が可能	モバイルルーター 電子ブック 複合機、プリンタ
製品検査時の1台あたり検査時間短縮で生産性向上	検査治具 製品の生産

■ 累積ライセンス数の遷移



若宮 正子氏がコーポレートアドバイザーに就任

■ 労働環境を整備し、女性や高齢者が働きやすい会社を目指す

- 社員や経営陣との対話を通じて、モチベーション向上のための施策を実施
 - 女性社員がより活躍しやすい環境づくり
 - 高齢者雇用の拡大に向けた就労環境の整備

■ コーポレートアドバイザーの略歴

- 若宮 正子（わかみや まさこ）
 - 1935年東京生まれ
 - 東京教育大学附属高等学校（現、筑波大学附属高等学校）卒業
 - 三菱銀行（現、三菱UFJ銀行）入行
 - 定年退職をきっかけに、パソコン通信を開始
 - シニア世代のコミュニティ「メロウ倶楽部」の創設に参画（副会長現任）
 - NPO法人ブロードバンドスクール協会の理事として、シニア世代へのデジタル機器普及活動に尽力
 - 2016年、iPhoneアプリの開発を開始
 - 2017年に米国アップル社によって開催された世界開発者会議「WWDC 2017」へ特別招待される
 - 2018年2月、国際連合（開発委員会）で基調講演
 - 安倍政権の看板政策「人づくり革命」の具体策を検討する「人生100年時代構想会議」の最年長有識者メンバーに選ばれる（会議は2018年に終了）



ラブロック社との資本提携

Edge**Trust**

■ 資本提携の目的

- 当社が提供するセキュアIoTサービス開発ソリューション「Edge Trust」と、ラブロック社とのブロックチェーンを活用したIoT機器のデータ改ざん防止のソリューションに関する業務提携を発表（2019年11月13日付）
- ブロックチェーン技術と「Edge Trust」を組み合わせることで、IoT機器や生成された情報を管理する際のセキュリティをさらに強化できるため、より高いセキュリティの実現を求めるIoTサービス事業者へのソリューションの提供に資するものとする
- 業務提携をより緊密なものとし、新しいソリューションの開発を加速するため、ラブロック社の第三者割当増資を引き受けることとした

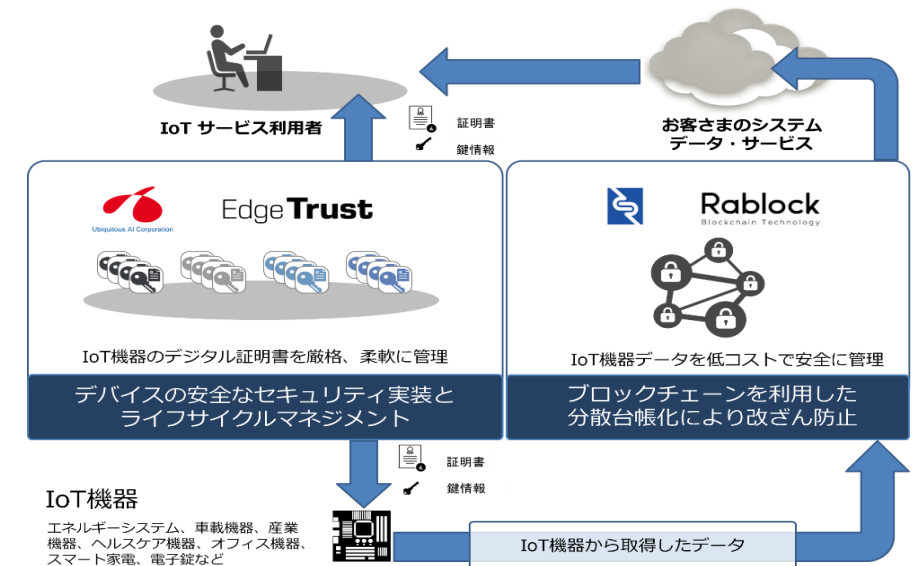
■ 資本提携の概要

- 第三者割当増資対象会社の概要(2020年1月28日現在)

会社名	ラブロック株式会社
本社所在地	東京都港区
設立年月日	2018年 6 月
代表取締役	長瀬 嘉秀
事業内容	ブロックチェーンサービス提供 ブロックチェーンに関するコンサルティング ブロックチェーンシステム開発 ブロックチェーンに関するトレーニング ブロックチェーンエンジンの販売
大株主	トランスコスモス株式会社

- 第三者割当増資引受けの内容

出資総額	15,000,000円
払込期日	2020年 1 月31日



Appendix

2020年3月期 第3四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第3四半期	11月13日	■ ユビキタスAIコーポレーションとラブロック社、ブロックチェーンを活用したIoT機器のデータ改ざん防止ソリューションに関する業務提携で合意 ～ 2020年3月の提供を目途に開発予定 ～
	11月19日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoT機器のライフサイクルを通じたセキュリティを実現するソリューション「Edge Trust」で使用される独自技術の特許申請
	12月 6日	■ ユビキタスAIコーポレーション、IoT機器の定期健診サービス「Edge Trust Health Check」を12月6日提供開始 ～IoT機器の保険サービスなどに適用可能な安全性をスコア化するシステムの特許申請～
	12月25日	■ ユビキタスAIコーポレーション、長久手市の高齢者見守りシステムの運用実験に参画 ～パートナー企業とスマートメーターの電力使用量データを活用したソリューションを提供～
第4四半期 (参考)	1月 6日	■ ユビキタスAIコーポレーション、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」累計出荷数 3,000万本を突破！ ～車載情報機器に加え、コンシューマー機器向けの販売を強化～
	1月15日	■ 若宮 正子氏がユビキタスAIコーポレーションのコーポレートアドバイザーに就任 ～労働環境を整備し、女性や高齢者が働きやすい会社を目指す～

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation